



復刊第96号  
題字 吉岡 弥生

### オランダ・グロニンゲン

### を訪ねて

副会長 山崎 倫子

何十年来の暑さに世界中が翻弄された夏もようやく終わり、やっと心地にかえったような今日この頃です。

去る八月一日から約二週間オランダ・グロニンゲンで開かれた国際大学婦人連盟の総会に出席しました。

※潜在能力の開発 Development of Human Potential をテーマに、世界の四十カ国から約八百名の参加があり、教育、コミュニケーション、婦人の進歩の三つの面からさまざまな問題が討議されました。

会員はいろいろの分野——教育、法律、経済、行政、科学(医学、化学、薬学、栄養)、福祉、マスコミ等——の専門家も多く、医師も三十人ほど参加しており、一夜、専門別集会を持ちました。

米、英、ドイツ、カナダ、ノルウェー、ニュージーランド、オランダ、ウルグアイ、ナイジェリア、の女医の集まった席での発言には仲々きびしいものが多く、医師に対する世界的傾向がうかがわれました。

今や世界は経済緊張と景気の後退により失業率は年々増加しているが、工業国のほとんどは医師過剰の傾向にあり、そのしわよせは女医にとつてきびしい現実的なものになりつつある。ドイツでは医師の養成が多すぎて、目下医師の失業率は二〇%に達している。なるべくすべての医師が医業に従事できるように、各人年間九カ月間のみ働き、仕事を分けあう方法をとりつつあるという。英国では二千人の医師が失業状態にある、アイルランドでは一人当たりの登録

患者数の制限を行なっている、もっとも病院では自然に男医優先となり女医が管理職につくことは一層むずかしくなってきた。

ナイジェリア、ウルグアイの女医はいずれも男女の差別なく、育児、家事への対応も問題なく、実力次第で教授、部長等の地位に就くと発言したが、これは元来医師不足の途上国であるから比較にはならない。また、情報によれば医師の八〇%を占めるソ連の女医は低収入で男性は医学に進まず、精密科学への進出が圧倒的であるとのこと、さらに、イタリアでは学位を持つ医師ですら職がなく、タクシートの運転手などをしていくものが多いと聞く。

女性における家事、出産、育児の問題はキャリアの継続という面ですつと以前からハンデイとなつていますが、国連婦人の十年の目標である男女のあらゆる形態における差別撤廃に相反して、今日では家庭か仕事かの選択を迫られるほど追いつめられてきている。たとえ一時的中断のつもりでも、もはや復帰は非常に困難な現状にある。母親の手による育児の重要性が再認識され、子供はちゃんと育てたいという現実と仕事の上での男女平等というジレンマをどう解決するか!! 夫の家事、育児等の役割分担を強く求めるべきである!! 等意気軒昂、お互いの国の現状をぶちまけあって、女性の団結を訴えた。

ある午後、知恵遅れの人 (mentally retarded) 三百二十五人 (男二百九

### もくじ

オランダ・グロニンゲンを訪ねて……………山崎 倫子 (1)

各部日より

女性ホルモンあれこれ(学術部)……………藤井 儔子 (3)

会計だより(会計部)……………丸山 芙実 (3)

事業部より(事業部)……………石原 幸子 (4)

オランダからのお客様(渉外部)……………柳瀬 路子 (4)

第十九回M W I A 国際会議のお知らせ……………山崎 倫子 (4)

支部近況

長崎県女医会(長崎支部)……………後藤すみ子 (5)

学術研究助成・研究経過報告

・胸腺内アセチルコリン受容体蛋白の分離証明……………川浪 祥子 (5)

・とその重症筋無力症の発生における意義

・特殊な方法によりニワトリ肉腫ウイルスにより誘導される成熟マウス一次癌を用いての……………竹内美恵子 (6)

癌の化学療法、免疫化学療法の研究

医学部長の日常性……………柴田 洋子 (7)

私の健康法……………中川 富士 (8)

中国医療視察旅行……………弓場 光子 (9)

忙中閑／杏の里によせて……………越 イハ (11)

昭和五十八年度定時総会ご案内…………… (2)

国際女医会第十九回国際会議参加のお誘い…………… (8)

昭和五十七年度学位取得者一覧表…………… (10)

理事会議事録…………… (10)

常任理事会議事録…………… (12)

会員動静…………… (12)

会員の消息…………… (12)

編集後記…………… (12)

十、女二十五)を収容する施設を見学しました。ここは六歳から死亡まで(現在最年長者七十二歳)の知恵遅れ者に一般社会人と同じ生活を送らせている施設で、軽度少数、中等度、重度の障害者がそれぞれ十数戸の二階建の家屋に分散して介護を受け生活している。彼らはもとより精神病者ではないのでこの施設をホームと呼んでいる。彼らは理解の程度によって、身の回り、畑仕事、花作り、鶏や豚の世話、軽作業、時に馬車で買物に連れていったり、料理をしたりであるが重度障害者の場合には食事も一口一口スプーンで食べさせる、着替え、シャワー、トイレ、ベッドに入れるまで一対一の介護、絶えず監視を必要とする者などさまざまである。



オランダのドクターの家庭に招かれて(一番背の高いのがオランダ女医)

知能障害者の中には身体障害を伴う者も少なくない。まっ暗な小さいホールでキラキラと点滅する赤や黄や緑のライトを浴びて何十人もが身体をぶつけあいデイスコダンスをしている情景は一瞬異様というか、何とも複雑な感じであった。親は子供を施設に入れば一生面倒をみてもらえ、面会に来る親は決して多くはないときく(しかし、それがどうなのだ!!)という心理学者である施設長の反応)。

彼らを介護するのは二百人余の若い女性である。まさに青春期にあるこの若い女性が、よくやる”のには驚きであった。止めてしまったり、代りが見つかからないというようなこととはないのかと聞いてみたが、失業率の高い今日、介護者不足に困ることとは全くない、との返答であった。しかし、こうした大変な仕事を続ける彼女たちには、経済的自立のためだけではない、奉仕の精神、あるいは宗教的バックボーンが深く根づいているに違いないと思えるのであった。

オランダ(人口一、四〇〇万人)にはこのような施設が五十六カ所あり、運営は国家予算による。一人当たり一日約一万五千円強、一カ月四十五万円強かかるという。簡単に福祉国家と言うは易いが、オランダの福祉の一面を見学し、敬意を表するとともに、果たしてこれがよいのだろうかかと割切れない気持ちで福祉のあり方を考えさせられながら帰途につ

## 昭和58年度定時総会のご案内

日時……昭和59年5月26日(土)、27日(日)

場所……横浜市中区・県民ホール

総会・評議員会……5月26日(土) 本部運営

講演会……東京女子医大消化器センター名誉教授・中山癌研究所所長/中山恒明先生

懇親会……講演終了後(6時頃)の予定

観光……5月27日(日)

Aコース……横浜市内観光

Bコース……横浜市内観光及び箱根方面(箱根泊)

百年以上の歴史をもつ横浜、近代的横浜を堪能していただきたい。最近とみに交通渋滞が激しいため、鎌倉その他の名所へのご案内が

できず残念ですが、どうぞ多勢のご参加を支部会員一同、心からお待ち申し上げます。

\*なお、詳細については、後日ご案内申し上げます。

神奈川県支部長 稲生 襄



横浜市唯一の名園「三溪園」

いたのでした。ともあれ、施設に働く多くの人々に心から拍手を贈った。またこの機会に、人口百五十万人の大都市グリーンゲンでもっとも設備のととのっているといわれるローマン・カソリック病院を見学した。この病院は特に熱傷センターと未熟児センターを有することで有名で、五百二十床の入院設備をもつ十三階建のメイン・ビルディングと左右に

コの字型に広がる全科目外来棟からなる。三〇%が救急患者で占められ、年間ベッド利用率八八%、平均入院日数十一・五日、入院費一日三万四千円、大半が一室に三ベッド、ラジオレシーバ、シャワー、トイレ付、一隅に食事を摂るスペースが設けられている。

年間出産千件、うち救急処置を要するもの四百件、未熟児室自体が高温、清浄の保育室となっている。夫が分娩室に入ってから分娩に立ちあうことは一般化してきており、新生児はただちに母親に接し、正常分娩の際は母親と同室となる。近年、とくに見なおされている母子関係、父母・子の関係の重要性が生かされていることはさすがといえよう。

C・Tはない。中央検査室では日立のオートアナライザーが活躍して

いた。もとより赤字経営だそうで、六五%が人件費という。

立派な病院をみてはさほど驚きはないのだが、メインテナンス(維持)が非常に清潔であること、空間的ゆとりが充分とてあることには大変感心した。広くて、アットホームな入院患者の談話室、面会室、小児病棟の学習室に遊び部屋、広く、整頓され、たくさんの鉢植えが心をなごますであろうナース・ステーション、そして看護婦の休憩室が各棟に配置されているなど、患者にはもとより、働く者に対する思いやりの行き届いている点には深い感銘を受けたこと

### 各部だより

## 女性ホルモンあれこれ

学術部

一頃は「がん」の成因としてウィルス説を唱えれば気がふれたかと思われた時代もあった。それが、今や最先端をゆく研究領域の一つである。時の流れに伴う学説の変遷は科学の歴史でもある。固定観念にとらわれると科学の進歩が遅れるともいえる。

女性の平均余命が男性より長いことは、血中を流れるエストロゲンの

でした。また外来の長い廊下の両壁はさながら美術館を思わせる何十点の絵画の展示がなされていた。救急を除き、外来患者の全てが予約制なので、患者が心置きなく診療を受けられ、待つものもいらだつことのない環境にあることが惚ばれた。

情緒不安定児(自閉症等)の收容、教育施設も見学したが、与えられた紙数をかなりこえてしまったので、一応ここでペンを置く。  
地域医療を受けもつ医師として、また社会人として、考えさせられる社会福祉、医療、教育の一面に接することのできた二週間でした。

学術部 藤井 儔子

量が多い点に鍵の一つがあるのではないかと多くの人は考えている。日本人の三大死因の一つである心疾患——特に心筋梗塞の頻度が遥かに男子に高いことも衆知の事実である。  
ここに興味あるニュースが、米国で発行されている「サイエンス」六月十日号に記されていたので簡単に紹介する。

「New Puzzle over Estrogen and

Heart Disease」と題したものである。

一九七六年にニューヨーク、セント・リュークのルーズベルト病院およびコロンビア大学勤務のG・フィリップス医師が、心臓発作をもつ男子の血中エストロゲン濃度が異常に高いことに気づいて発表した。彼は五十歳以降の男子の心臓発作の危険因子としてコレステロール説には納得できずに他の要因を探索した結果、高エストロゲンの問題にぶつかつた。彼はその後の二年間にこれに関する幾つかの報告を発表したが学会からの反応を得られなかつた。ところが、近年、二つの研究グループが、彼の報告を立証した。

クリーブランド大の医師は、狭心症発作を有する患者と、心筋梗塞を起こした三十七〜五十八歳の男子患者の血中エストロゲン値が有意に上昇していることを見出した。第三のグループ、マサチューセッツ大の医師らも同様所見を報告した。血中エストロゲンが高値であることが、心臓発作後の患者の生存を可能にしたのでは……との考えも出されたが、調査の結果、エストロゲン値の高い患者ほど血中CPK値も高く予後が不良であつたとのこと。

従来、閉経前期の女子の心筋梗塞が少ないのは機序は不明であるが、エストロゲンの防禦効果と考えられてきた。「サイエンス」のニュースは、一つの問題提起である。常時血中エストロゲンが男子より高い女子における心血管系疾患の問題に対す

会計部

## 会計だより

最後の一つ。一九六〇年代、男子

今年のは夏は台風五号による災害に加えて、大韓航空機事件があり、国内はもとより世界中が騒然としております。会員先生方にはこの夏、いかがおすごしでしたか、お伺い申し上げます。

さて、会計だよりを、との広報よりの依頼を受け、今回は私が筆をとらせていただきます。佐藤先生を中心として五名の編成で担当しております。幸いに前期までの会計担当理事がガツチリと綿密に残された記録をもとに受けつぎ業務致しております。ここで会計の業務につき紹介致します。当然の事ですが、その月の会計報告書はその月の理事会に計上報告されます。ことに支出面については綿密にチェック、確認しておりますが、その都度、本部事務局から連絡があり、手違いなきよう、注意して行なっております。一年間のまとめがその年の年度会計収支決算書

会計部 丸山 芙美

の心筋梗塞患者に対し、発作再発予防のためエストロゲン投与が試みられたケースもあつたが、むしろ発作誘発が疑われて中止されたとの報告がある。

であります。また次年度会計収支予算案につきましては、その年度変わりの三カ月前に各部よりの予算額を申し受けて、各部の部活動に支障なき額を、次年度収入見込総額と参照しながら、部委員が作成、たびたび理事会にかけて最終的なものとなっております。

財源が会員の会費によつてまかなわれておりますからには、支出面でのわずかな無駄も許されません。社団法人日本女医学会の団体活動が会員にとつてより魅力がありメリツトのある組織団体として発展、活躍して行くには、その原動力としての資金の調達に外なりません。この意味において会員皆様の会費納入についての一層のご理解とご協力下さいませようお願いします。会費納入率一〇〇%を念願して、会計報告と致します。

\* \* \*

# 事業部より

事業部

事業部 石原 幸子

長い雨の後の猛暑、短い夏も終わり、思考力を失ったまま、秋を迎えようとしております。会員の皆様いかにお過ごしでしょうか。

さて、事業部といたしましては、六月に一度会合を持ち、それぞれの意見を交換致しました。さし当たり、私ども事業部の仕事の一つである、年金事業を強力に進めることに意見が一致し、年金の有利なメリット、今後の見通し等について、現在代行している安田信託担当者招き、率直な意見を聞き、さらに分かり易い図表等作成してPRしましょうという事になりました。

私ごとですが理事就任まではあらかも一つの意見はスーツと通り、その実践はきわめて容易なものと思われましたが、実際は、念入りの理事会の決定により施行されるのであって、議論百出の中にも一本の筋が通っているという感が致します。

## オランダからのお客様

渉外部

渉外部 柳瀬 路子

東京で催された国際女医学会の写真の中でにこやかにそばを食べている肥った大きな女医さんを見ている方もいらっしゃるでしょう。Ver Hagenさんといって当時オランダの副会長でした。その方が日本が好きになってどうしてまた来たいとお

っしゃって、実はマニラ大会の時見えるはずでしたが、健康を害されて、今年の五月二日、国際連絡書記のAbelenさんと一緒に来日されました。そしてホテルには泊りたくないと言われるので、引越しのつもりで、

# 第十九回MWIA 国際会議のお知らせ

国際連絡書記

山崎 倫子



すでにご案内の通り、来年(一九八四)七月二十九日から八月三日まで、カナダのバンクーバーで第十九回国際女医学会が開催されます。次期国際会長 Dr. Beverley Tambolin から次のような連絡がありましたのでお知らせします。

会場 ホテル・バンクーバー及びハイアット・レジエンス  
登録費 三二五カナダドル、ただし本年十二月三十一日まで払込みのこと、以降一九八四年四月三十日まで三二〇カナダドル、四月三十日以降は三七五カナダドルとなります。同僚者については二〇〇カナダドルです。

日程  
一九八四年五月三十一日までの取消しは七五%返金、六月三十日まで五〇%返金、以降は返金しません。  
〇七月二十九日(日曜)

九時からホテル・バンクーバーで登録  
十四時―十六時、地元会員家庭にご招待  
十六時半―十八時、連絡書記打合せ  
十九時―二十一時、カナダ女医学会によるレセプション  
〇七月三十日(月曜)  
八時 朝食  
九時 開会式  
十時半―十二時 ワーク・ショップ  
(a)若し会員のWork Shop  
(b)学術プログラムの議長副議長、報告者等の打合せ  
十二時十五分―三十分 展示会開

十二時半 連絡書記昼食会  
十三時半―十七時 学術プログラム  
十九時 サーマン・バーベキュー  
〇七月三十一日(火曜)  
八時 朝食  
九時―十二時半 学術プログラム  
十四時―十七時 総会  
〇八月一日(水曜)  
一日または半日旅行

〇八月二日(木曜)  
八時 朝食  
九時―十二時 学術プログラム  
十三時―十四時半 学術プログラム  
十五時―十六時半 病院見学  
〇八月三日(金曜)  
八時 朝食  
九時―十二時半 学術プログラム  
十三時半―十四時四十五分 総会  
十五時―十六時半 学術決議、閉会  
十六時半―十七時 第二十二回国際会議案内  
十九時 パンケット

登録費に含まれるのは、(1)開会式のレセプション、(2)サーモン・バーベキューと木を切るショー、(3)水曜日の小旅行、(4)月火木金の朝食と(5)日曜午後の会員家庭へのご招待です。論文発表に際してのスライドは、5×5 cm、フィルムは16ミリ、オーバヘッドプロジェクターの用意があります。薬品及び外科器械が開期中展示されます。

〇七月二十九日(日曜)

オランダ女医学会のベルファージェン、アペレン女史を囲んで



家財を片付けていた佐野常任理事のお宅はテンヤワンヤ。お二人とも大喜びで佐野さんの馬込の日本家庭にご厄介になり、一日は鈴木理事(涉外部)と平瀬常任理事(広報部)が浅草へご案内して甘味なども楽しんで頂きました。八日にはスケジュールを組んで関西へ向かい、さらに長崎を初め雲仙・阿蘇を廻り、雲仙には三泊して筑紫観光、次に四国の高知へ行き二泊、須崎の小出先生にお世話願ったり、夜須町の上田はる先生

の「建前」に招かれてご馳走になり面白かったと言っておいでになりました。それから岡山・倉敷を観光して十九日帰京され、また佐野先生の家にお世話になり、二十日はホテル・オークラの山里で理事会の歓迎パーティ。お二人ともお箸の使い方も堂に入って、楽しい会でした。二十一日のお別れパーティは世田谷の柳瀬の家へお招きして、日本の家庭料理を差し上げましたが、南瓜の煮物、野菜・椎茸の煮付など奇麗に平らげられ、浴衣をきたり、ダンスをしたり大はしゃぎで歡をつくしました。

● 学術研究助成・研究経過報告

胸腺内アセチルコリン受容体蛋白の分離証明とその重症筋無力症の発生における意義

福岡大学内科第一 川浪 祥子

重症筋無力症(Myasthenia Gravis, MG)患者の血清中には、抗アセチルコリン受容体抗体が存在し、その胸腺の約七〇%に過形成、約一〇%に胸腺腫などの異常が認められる。MGの発症機構における胸腺の役割を明らかにする目的で、胸腺から、アセチルコリン受容体蛋白を分離し、その化学的組成および、MG患者血清との反応性を検討した。

アセチルコリン受容体蛋白は、cobotoxin-Sepharoseを用いたaffinity chromatographyの方法により分離した(Isolation of acetylcholine receptor protein from fetal calf thymus - submitted)。Sephacryl-S 300を用いたゲルろ過を行ない、さらに精製した標品の、polyacrylamide disc gel electrophoresis (disc-PAGE), SDS-polyacrylamide slab gel electrophoresis (SDS-PAGE)を行ない、その純度、および subunit 構造を検討した。単離受容体標品の受容体活性は、<sup>3</sup>H-labeled α-Bungarotoxinとの結合活性によって判定した。またこの受容体標品に對して、ヒト患者血清が反応を示すか否か、即ち患者血清中の抗アセチルコリン受容体抗体の存在を

amine disc gel electrophoresis (disc-PAGE), SDS-polyacrylamide slab gel electrophoresis (SDS-PAGE)を行ない、その純度、および subunit 構造を検討した。単離受容体標品の受容体活性は、<sup>3</sup>H-labeled α-Bungarotoxinとの結合活性によって判定した。またこの受容体標品に對して、ヒト患者血清が反応を示すか否か、即ち患者血清中の抗アセチルコリン受容体抗体の存在を

支部近況

長崎県女医学会

長崎支部 後藤すみ子

数年間長崎県の女医学会を開催しなかつたので、久しぶりに女医学会に入会している方もしていない方も、とにかく長崎県に根をおろしている女医であれば誰でも皆さん集まってみようではないかと思ひ立ちました。開業医六十五名と勤務医六十二名の方々へ案内しましたところ、三十一名の方から出席の返事が参りました。七月十七日(日)、会場は長崎グランドホテル。その日は昨年の長崎豪雨とまではいかないがたいへんな雨で、一部不通の線もあったほどでたいへん心配しましたが皆さんよく予定通り出席下さってホッと致しました。若い方の中には「女医学会ってなあに」といわれる方もおりました。それで会の初めに、女医学会とは女医の集まりであるが、目的として医学に関する調査研究、医療の普及および公衆衛生の向上ならびに、女医相互の啓発および親睦を図り、もって女医の社会的使命の遂行と国民福祉の増進に寄与すること、と定款を読み上げて説明にかえました。

次に五十八年五月二十八日、二十九日の日本女医学会総会が岡山市でありました際出席しましたので、その様子を報告して女医学会はどんな仕事をしているか少しでもわかって頂けたかと思ひます。また研究助成者が五名、吉岡賞受賞者が三名あり、またへき地助成も団体と個人とに表彰があつた事を説明し、長崎からも奮って応募して下さいと申し上げました。

食事の後、自己紹介をしてくぐ親しくなつたようです。私からみると子供または孫のような若い女医さんもおられますが、回を重ねていくうちに、年齢をのりこえて女医同志もつともつと親しくなると思ひます。会の終わりに新しく十二名の方がさっそく入会下さつた事を深く感謝致します。

最後に予備評議員の鶴津多子先生と山田祐子先生には、勤務医の名簿を作つて下さいましてこの会が盛大にできた事を誌面をかりて深謝致します。

くセチルコリン受容体抗体の抗原であり得るか否かを、平底のマイクロプレートを用いた酵素抗体法(Enzyme-Linked Immunosorbent Assay, ELISA) (Enzyme-Linked Immunosorbent Assay (ELISA) for antibody against the nicotinic acetylcholine receptor in human myasthenia gravis-submitted)を行ない、検討した。

結 果

①コラー酸で可溶化し、affinity chromatography により分離した受容体標品は、SDSを用いながら、disc-PAGEでは、単一のbandとして認められた。②SDS-PAGEでは、分子量四万、六万二千、七万四千の部位にmain bandが認められ、Torpedo californ. の電気器管のアセチルコリン受容体蛋白の、 $\alpha$ および $\beta$  subunit類似の組成を有することが推定された。band

●学術研究助成・研究経過報告

特殊な方法によりニワトリ肉腫ウイルスにより誘導される

成熟マウス一次癌を用いての癌の化学療法、免疫化学療法の研究

国立がんセンター研究所 竹内美恵子

癌の化学療法、免疫化学療法の基礎研究において、より人癌に近いモデルとしてはいかなる実験腫瘍系を用いればよいかと現在でも試行錯誤の状態であり、継代癌よりも自発癌を用いる方が望ましいという意見もある。

数は、protease inhibitor を二種以上用いることにより増加し、凍結融解をくり返すことにより著明に減少した。③可溶化後分離した受容体標品を $^3\text{H}$ - $\alpha$ -bungarotoxinと室温で六十分反応させ、free toxinの分離をTSK G3000-SWのカラムを用いた高速液体クロマトグラフィー(High pressure liquid chromatography, HPLC)の方法により行った。 $^3\text{H}$ - $\alpha$ -bungarotoxinとの結合活性は、 $0.846 \times 10^{-6}$  mol/g protであった。この活性は、一回凍結融解後には、七六%に減少した。④この単離受容体標品は、Sephacryl S-300によるゲル透過により、三個のpeakに分離され、SDS-PAGEにより、初めの二個のpeak部分に分子量四万のsubunitを含むことが判明した。⑤④の第一のpeak分画を抗原としてELISAを行なった。正常対照群七例中一例、全

身型のMG十五例中十一例、七三%に抗アセチルコリン受容体抗体は陽性であった。陰性を示した患者三例は、副腎皮質ホルモン療法を受けていた。

結 論

牛胎児胸腺からアセチルコリン受容体蛋白を分離した。 $^3\text{H}$ - $\alpha$ -bungarotoxin との結合活性は、HPLCを用いて測定した場合、Torpedoの電気器管の $10^{-4}$ 倍の低値を示した。SDS-PAGEでは、 $\alpha$ および $\beta$  subunit類似のpeptideが認められ、ELISAを用いた検索では、MG患者血清中に、抗体は陽性であった。胸腺内アセチルコリン受容体蛋白は、ヒトMGにおいて、抗アセチルコリン受容体抗体を産生する抗原となりうることを示唆される。

を追跡した。他に腫瘍の化学療法、免疫化学療法は腫瘍の外径が4mm以上に達した時点から試みた。

研究成績

1) 一次癌発癌過程におけるpoly I. C. の効果

SR-CTCとMECを、 $a$   $5 \times 10^6$  と  $2 \times 10^6$ 、 $b$   $5 \times 10^5$  と  $2 \times 10^5$  とをそれぞれに混合接種した五〜六週齢のC<sub>57</sub>Feマウスに100r/0.25ml of salineのpoly I. C.を一日おきに六回腹腔内注射した。

細胞の接種日を0 dayと、poly I. C.を2から8日目、10〜10日目まで投与した時、腫瘍発現の抑制はみられず、腫瘍発現までの期間がa群では対照の二十三日に対し十五日、b群では六十二日に対して三十二日と二十八日と短縮の傾向がみられた。これに反して二〜十四日、八〜二十日、十四〜二十六日の間に投与した群では腫瘍発現の抑制はみられなかったが、腫瘍発現までの期間が対照の三十一日に対し、a群で五十九日、五十二日、八十三日、b群では対照の六十日に対して九十三日、六十日、七十五日と延長がみられた。

みられず、SR-CTC + MEC接種群では腫瘍発現までの期間が対照の七・〇日に比し十四・四日に、生存期間も対照の三十五・〇日に比し五十九・九日と延長がみられた。

3) 抗癌剤、免疫賦活剤による治療実験

六週齢のCDF<sub>1</sub>マウスに型(1)とSR-CTC  $5 \times 10^6$ 、MEC  $2 \times 10^6$ を混合接種後十八〜二十八日目にはすべの Maus に腫瘍の増殖をみとめその外径が4mm以上に達した時(三十一日目)から、(1) Adriamycin (ADM) 15 $\mu$ /mouse 週一回、Vincristin (VC) 0.5 $\mu$ /mouse 週一回それぞれ単独腹腔内投与、(2) ADM 15 $\mu$ 、VC 0.5 $\mu$ を各々週二回併用腹腔内投与、(3) (2) + Bestatin 20 $\mu$ /mouse 週五回連続経口投与を隔週。以上の三通りの療法を二カ月間継続した。実験開始後百二十日目でマウスを解剖し、体重、腫瘍と脾の重量を計測し治療の効果を比較検討した。各群の動物数が六、十二匹と少数であったが治癒率と死亡率は、ADM + VC + Bestatin 群では三三%と一六%、ADM + VC 群は二五%と〇%、VC 群は三三%と三二%、ADM 群は一六%と三三%であった。

ま と め

著者らは、ニワトリ肉腫ウイルス(SR-RSV)またはAdenoウイルス12型と、正常マウス胎児細胞(MEC)との混合物をMECと同系の成熟マウスに接種することにより、成熟マウス内で腫瘍ウイルスに感染した胎児細胞が次第に腫瘍化し増殖を続け

マウスは腫瘍死にいたることをすでに報告している。(Ref. 1, 2) このニワトリ肉腫ウイルスによる成熟マウスの発癌過程に Polyribonucleic acid polyriboctyidylic acid (poly I. C.)あるいはAzathiopurine (AZA)を投与し発癌に対する影響

自発癌のモデルとしてSR-CTCとMECを混合接種することにより成熟マウスに一次腫瘍を誘発し、インターフェロンのinducerでありまた免疫増強効果も示すpoly I. C. 抗癌

剤であるが免疫抑制剤としてもよく用いられるAZAの、発癌過程に対する効果と腫瘍増殖抑制効果を検討し、また抗癌剤のADM, VCと免疫賦活剤Restatinの併用効果も検討し

た。これら薬剤により腫瘍発現の延長、延命や併用療法による治療もみとめられたので、今後はhostの免疫状態の解析と併行してさらに実験を進めたい。

### 医学部長の日常性

品川支部

柴田 洋子  
(東邦大学医学部長)

この度、広報部からのご依頼を受け、伝統ある日本女医学会誌に執筆させていただくことになりました。私も女医学会員として末席をけがしておりまして、昭和四十年代前半の頃には何年間か理事として至誠会館の会議室に時々通っておりまして、その後は公務多忙につき辞退させていただきます。

さて、今回は、女医学会の中から医学部長になった者がいるから、その立場上のごで何かを書け、というふうな私なりに解釈いたしました。が、大上段にふりかぶるよりも日常のことを書かせていただきます。

歴史的にみてわが国において女性の学長ないしは医学部長になられたのは吉岡彌生先生以来、絶えて久しく存在しなかつたのでありますが、二番目に登場いたしましたのがわが校において、私の前任者であります

大岡良子前医学部長であり、三番目が私ということになります。女性の管理者としてのこのような立場はアメリカにおいても現代ではまだ稀有なことで、昨年私が米国スタンフォード大学医学部を視察いたしました折の情報では、ごく最近西海岸の某大学において一人女性医学部長が誕生したそうで、ぜひ両者が会う機会をもって気炎をあげてほしいなどといわれました。

そんなことはともかくとして、私どもの大学の卒業生が久しく前から念願としていることは、私立大学の特性を生かすためには大学運営の執行部になるべく多くの卒業生を送り込もうということでありました。そのような方向性の中で年代的な考慮もあり、私としては一つの踏み石となる決意をしたわけであります。昭和五十四年から五十七年までが第一

期就任であり(任期三年)、五十七年七月から二期目の仕事が始まっております。わが校におきましては医学部長、病院長はそれぞれの教室主任として講座運営の業務と兼任でありますので、その忙しさはまた抜群です。教室の仕事としては私の場合、講義、セミナー、週三回の外来担当、廻診、抄読会、医局会などの日常業務の他、研究面での学会活動などが含まれます。医学部長の仕事としては、教授会その他三つの重要会議を主催するほか、十指に余る特殊委員会をすすめてゆかなければなりません。国公立の大学とちがってすべてがきわめて民主化されておりまして、少数意見といえども一挙に無視するわけにはゆきませんので、それぞれの反対グループに対してはコンセンサスを

得るまで、何回でも、そして何時間でも意見を交換しなければならぬことがしばしばあります。また、著しい時は午後から五つぐらいの会議が重なることもありまして、コンピュータ式の頭の切りかえが要求されます。幸いにして私としてはこの点が比較的スムーズにできるので助かります。またもう一つの幸いは健康にめぐまれていることであります

Ref.

1) Takeuchi, M., Yamamoto, T., Tumor induction in adult mice by SR-RSV material with syngeneic embryo cells. Jap. J. Exp.

2) Med. 39, 233-238, 1969.

Takeuchi, M., Nitta, K.; Induction of murine tumors in adult mice by a combination of either avian sarcoma virus or human

adeno virus and syngeneic mouse embryo cells, Cancer Res. 43, 328-332, 1983.

夜の宴会も少なくないため、自宅での夕食の時間がなくなるわけですが、こんな時は朝食をたくさんたべて頑張ります。いわば「ため食い」ができるのも私の特技なのでありがたいと思っている次第です。

夜間の会議では委員の先生方とハコベンを食べ、また内外のおつき合いの宴会も少なくないため、自宅での夕食の時間がなくなるわけですが、こんな時は朝食をたくさんたべて頑張ります。いわば「ため食い」ができるのも私の特技なのでありがたいと思っている次第です。

祝会などほとんどつぶれてゆきますと、たいへん悲しい想いです。カレンダーに行事をどんどん書き入れて自分の時間が消えてゆくのをながめる時のみじめさは格別です。では、自由の時間に何をしたいのかというと、それは自身の勉強と原稿を書くことなのです。でも、とにかく四年間それをやってきました。前の医学部長も、そしてその前の医学部長も同じことをやってきたはずで、そこには女とか男とかの区分はまったくありません。男性の学部長が、「学部長を五年やっていただけで教室のことが充分できなかった。酒を飲むので胃が悪くなった」という感想を

述べておられました。酒を飲むというのはいろいろと頭にくる事が多いからで、私も同感です。気分転換にハイキングやゴルフにゆく時間さえないとすれば、いつ時の逃避として手軽なのがアルコールということになるのでしょう。もう一つつけ加えることがありますが、私は不眠ということが比較的少ないではありませんが、業務上の困難な出来事をあれこれと考えてふっ切れない時もあり、そんな時に利用できるのが深夜テレビでありまして、6チャンネルの刑事ものや12チャンネルの素浪人物語はたいへんお世話になっております。ただし途中で睡眠に入ることがありますのでタイムーは必要です。テレビ終了後も眠れない時は開き直って小説を読むことにしています。

いろいろな身辺のごで誌面が尽きました。一つは、大学の事をあれこれ書いても仕方がありませんし、それよりも女医学会の本質にちなんで、こんな女医の生き方もあるのだということを知っていただくような方向に筆が進んでまいりました。よろしくご理解をお願いします。

最後に会の発展と、会員各位のご健康をお祈りします。

# 私の健康法

大田支部 中川 富士



今年の夏の初めころ、広報部から私の健康法の秘訣を教えてくださいとお便りとともに原稿用紙を送っていただきました。あらためて考えてみましたが、特別に健康法と思っ

てしていることはありませんので、困ってしまいました。  
私は、明治四十三年四月三十日生まれ満七十三歳になりますが、いまだ、開業医として診療しております。医師会の懇親会の時など、二次会、三次会と若い先生方と同じおつき合

私が社交ダンスを始めましたのは、帝国女子医専の学生の頃でした。仲

良しの寄宿生のお友達をさそって、新橋のダンス教習所へ通ったこともありませんが、寄宿生は、舎監の先生から、ダンスを習うと不良になります、としかられ、しだいにやめてしまいました。私は自宅通学でしたから、さいわい、時々習いに行くことができました。ところが、どうにか踊れるようになった頃から、戦争でダンスどころではなくなりました。

戦争中は、夫の郷里へ、子供四人連れで疎開しました。そこは福井県の無医村で、村長さん、村民の希望も多かったので二年間、田舎の開業医を致したこともありました。昭和二十三年に国電蒲田駅の近くに、医院としての住居が建築でき、上京してからは、しばらく中断していたダ

ンスのレッスンを、また受けられるようになり、そのまま現在に至っております。

医師会員の中にも、かなり多くのダンス愛好者がおり、十二月には医師会でもクリスマスパーティーを開いたものでした。その他、ダンス教室のパーティー、キャバレーのパーティーと、土曜、日曜は忙しかつたと思います。今から約二十年前にゴルフが大流行となり、医師会のダンス愛好者が、ほとんど、ゴルフに転向してしまいました。私もゴルフにさそわれましたが、ダンスの方が、時間的にも体質的にも合っていると思い、ゴルフははじめませんでした。

子供たちが成人するまでは、日本女医学会の理事、鶴風会の理事長等、診療外の用事も多かったのですが、仕事の間に都合してダンスのレッスンに通ったものでした。いまだに、学校医、産業医、医師会立看護婦学校の運営委員等が続けておりますが、このごろでは、日時を予約してレッスンをうけることができるようになりました。ダンスは無理のない全身運動で、足腰に故障のないかぎり、何歳になってもできます。

私が、今の年齢になりますまで、健康でおりますのも、楽しみながらダンスを続けてきたからではないかと思えます。  
昭和四十五年から、ホテルで開催されるダンスパーティーでのデモンストラーションに一年に四、五回出演するようになりました。今年六月、

武道館で開催された、社交ダンス世界選手権競技会から、急に女性の出演者のドレスがロングドレスになりました。私も夏のパーティーのために、ロングドレスを作りましたが、小学校の林間学校と重なり、出演できませんでした。写真は今年四月の京

王プラザホテル・エミネンスホールでのスナップです。  
(昭和五十八年九月)

## 国際女医学会第19回国際会議参加のお誘い

来年七月二十九日から八月三日まで、カナダのバンクーバーで開催されますので多数のご参加をお待ちしております。

日時 昭和五十九年七月二十九日から八月三日まで  
場所 カナダ(バンクーバー)  
申込み金 十五万円(登録費を含む)  
コース

一、会議とアメリカ大自然の旅  
期間 昭和五十九年七月二十四日(火)～八月五日(日)  
概算 七十一万円(登録費別)  
旅程 成田発～シアトル(一泊)～ソールトレイクシティ(一泊)～イエローストーン国立公園(二泊)～バンクーバー(七泊)～機中泊～成田着

二、会議とフランスの旅  
期間 昭和五十九年七月二十四日(火)～八月五日(日)  
概算 七十九万円(登録費別)  
旅程 成田発～アンカレッジ(二泊)～バルディーズ(一泊)～アンカレッジ(二泊)～バンクーバー(七泊)～機中泊～成田着

・コース一、二の担当は日本交通公社国内、海外団体旅行日本橋支店。担当者・外川グループ  
☎〇三二二七四一六八一七





に到着。中医学院交流参観。この病院は、大学第二附属病院で、中医学三分の二、西医学三分の一の割合で研究・教育する病院であり、ベッド数七百八十床、医師、看護婦を含め従業員は千三百人、外来患者数一日三千人くらい。学生は全寮制で、学費・食費は無料です。

ここでは、モデル人形を使ってコンピュータで経路の講義をする目玉商品が購入されてありました。

翌日は、中山医学院交流参観。この病院は本邦の大学附属病院に相当するもので、第一附属病院と聞きました。ベッド数八百床、従業員総数約七百人、教授は四十人、学生は留学生を含めて二千。外来患者数一日二千、この病院の設備は一流で、アメリカ製の機器が目立ちました。治療は、白血病、心臓疾患、癌腫に主力をおき、ハリ療法も、漢方薬

とともに重視されていました。

ハリ療法は、直流をはじめ、パルス通電、静電気、磁気、高周波微弱通電など、多様なエレクトロニクスを導入して研究が行なわれていることなど、躍進する中国の姿をみせつけられました。中国の医学も、西医学を主とする教育過程でもその三〇%は中医学の教育を受けており、逆に中医学を主とする教育過程においても三〇%の西医学の教育を受けており、中西医结合を目指している傾向です。

訪中期間は、日本の年末にあたり、歳末風景の中でも広州名物の花市見物は雨にたたられましたが、思わぬ収穫でした。またいたるところで産児制限(夫婦に一人の子供)のポスターが目につき、十億の人口をかかえた中国の悩みは深いものと思えました。

理事会議事録

日時 昭和58年6月25日  
場所 日本女医学会 会議室

出席(敬称略)

三神、小俣、福永、山崎、稲葉、久保田、佐藤、佐野、白橋、野沢、橋本、平瀬、丸山、森川、八木、柳瀬、明石、荒木、石川、石原、井上、川口、川島、鈴木、蓮井、藤田、町田、三好、森、山本、添田、西山、山口

欠席(敬称略)

鶴川、関口、野呂、藤井、マッキンストリ

庶務報告

久保田常任理事

4月23日 常任理事会、理事会を行なう。

4月28日 優生保護法改正阻止連絡協議会へ柳瀬常任理事出席。

5月12日 日本女医学会誌94号、会務報告、年金パンフレット、会費納入願、会費請求書、振込用紙、ルーペンダンパンフレット、ハワイ旅行パンフレット発送、東京都支部連合会内規委員会を

昭和57年度 日本女医学会会員学位取得者一覧表 (学術部) 58. 9. 17.

全国医科大学70校に調査依頼し52校より回答あり、結果116名の学位取得者中、18名の女医学会員がおりました。

支部	氏名	出身校	卒年	論文名
栃木	西田由美子	東邦医	昭・43	子宮筋腫患者の心身行動態に関する臨床的研究 ——特に貧血を合併しない患者の術前術後変化——
茨城	秋元一恵	東女医	昭・32	尿糖陽性妊婦における Hemoglobin Aic に関する研究
千葉	西川 恵	東女医	昭・50	ループス腎炎における抗Tリンパ球抗体に関する免疫学的研究
板橋	齊藤礼子	東女医	昭・49	放射線照射および化学療法における心障害の臨床的検討
品川	半間みや子	昭和医	昭・49	鼻部サーモグラフィーに関する研究
渋谷	長谷川かをり	東女医	昭・49	大腸癌の臨床的、内視鏡的検討
新宿	関口幸子	東女医	昭・49	重複奇形児の解剖学的研究 ——頭胸結合重複奇形児の血管発生——
杉並	川上順子	東女医	昭・48	ヒトの脳幹における麻酔薬の作用に関する研究
世田谷	相澤晴子	東女医	昭・47	中耳貯留液の免疫化学的研究
中野	西山愛子	京都大	昭・46	Substance Pの家兎眼に対する影響 I. Substance Pの眼に対する影響 II. 家兎瞳孔括約筋における Substance Pの影響
目黒	石川千鶴	東女医	昭・46	骨髄の細網線維増殖について
東女医学内	高橋通子	東女医	昭・40	ラット前立腺、腹葉と外側葉における副腎性 Androgen の役割 第1編 In vitroにおける <sup>3</sup> H-Testosterone と <sup>3</sup> H-Dehydroepiandrosterone のとりこみについて 第2編 In vivoにおける <sup>3</sup> H-Testosterone と <sup>3</sup> H-Dehydroepiandrosterone のとりこみについて
都下	森山みよし	日大医	昭・53	新生児期の大泉門圧の変動について
神奈川	佐伯輝子	東邦医	昭・32	Procaine amide および ajmaline の房室結節標本の交感シナプス前および後作用の検討
神奈川	本田美代子	東邦医	昭・45	小脳性運動障害の臨床生理学的解析 ——単一運動単位の動態を中心に——
兵庫	西嶋攝子	関西医	昭・45	尋常性痤瘡病巣より分離した Propionibacterium acnes に関する研究 第I報 生物型別について 第II報 生物型別抗生物質感受性とテトラサイクリン系薬剤による Propionibacterium acnes Lipase 活性阻止作用について
長崎	福田友子	長崎大	昭・48	細菌感染防禦機構における好酸球の機能と意義
長崎	山田京子	長崎大	昭・46	ヒト老人性白内障水晶体中の遊離アミノ酸および関連化合物の研究

行なう。  
 5月20日 オランダ女医会よりペ  
 ルフアーゲン及びアペレン女史  
 来日につき、ホテル・オークラ  
 にて歓迎会を行なう。  
 5月27日 日本海中部地震災害見  
 舞を青森、秋田、北海道各支部  
 へ発送する。

青森、秋田支部より特別大き  
 な被害なしの連絡あり。  
 5月28日 第28回定時総会、評議  
 員会を岡山プラザホテル（岡山  
 市）にて開催、百五十四名出席。  
 6月7日 昭和57年度学位取得者  
 及び医師国家試験合格者の名簿  
 依頼をする。

6月8日 婦人教育国際交流事業  
 レセプションへ山崎副会長出席。  
 その他  
 (1)厚生統計協会発行「医師、歯科  
 医師、薬剤師調査」購入する。  
 (2)故早川セツ子先生ご遺族より香  
 典の礼状あり。  
 (3)故阿部十七先生ご遺族より供養

忙中閑

杏の里によせて

長野支部 越イハ

みずずかる信濃の春は、おそ  
 うございませうが、四月に入りま  
 すと、杏の里やその周辺の部落  
 では、にわかには活気づいて、今  
 年の空模様は、陽気は、どうで  
 あるうかとさわざだします。こ  
 こ更埴市の杏の里と呼ばれてい  
 る、森、倉科、生萱地区では、

信州の桃源郷と言われるにふさわし  
 い、一目十万本を数える杏の木々が  
 開花の折には、民家を埋めつくして、  
 一大パノラマが展開します。シルク  
 ロードのカラコルム山中の高地、フ  
 ンザの里では、住民だけで楽しむこ  
 とができる桃源郷ですが、こちらは  
 週末ともなると、車と人の波で、せ



杏の花

つかくの里も静  
 かに見物という  
 わけにはいきま  
 せんのが、残念  
 です。杏の花は、  
 気まぐれで、春  
 先の気温の変化  
 に左右され、昨  
 日まで蕾だった  
 のに、一夜明け

れば満開になることもありませう。  
 開花の時期は、およそ四月十二、  
 三日頃から十八、九日頃まで、  
 里の低地からだんだんに高い所  
 に向かって咲いてゆきますので、  
 一週間から十日間くらいは、ど  
 こかで結構楽しめます。民家の  
 門口、玄関さき、勝手口、外便  
 所わき、軒下、庭の所々、畠、  
 空地等に植えてあり、家々は杏  
 の木にかまれています。この  
 花は貴品・香りともに高く、春  
 にさきがけて咲く梅の花、また  
 あやしいまでに美しく、あでや  
 かな桜の花とは異なり、人にと  
 もにあつてたいへんに人をつか  
 しいポピュラーな花です。早朝、  
 村の中を歩きますと、甘ずっぱ  
 い香りに、人恋しきを感じ、古  
 木になると、天をつくくらいに  
 大木となり、村の古い歴史をの  
 みこんでいる感じがします。静  
 かな里を歩かれたり方々は、週  
 末をさげられるよう、おすすめ  
 いたします。

の品あり。  
 (4)荒川あや先生ご夫君の葬儀の礼  
 状及び供養の品あり。

連絡事項

(1)「市川房枝基金」制度の案内  
 援助課題  
 婦人の地位向上、政治の浄化、  
 国際協力などのための個人及  
 び団体の研究調査、活動で社  
 会に役立つものであること。

援助の対象  
 原則として女性であること  
 (個人及び団体、グループ)  
 援助金額  
 総額百万円(年一回)  
 応募メー切 昭和58年8月15日

(2)昭和58年度国立婦人教育会館公  
 開講演会について  
 (3)昭和58年度女性学講座開催要項  
 について

一、国際女医会について  
 (1)国際女医会第19回国際会議につ  
 いて  
 一九八四年七月二十九日から八  
 月三日までカナダのバンクーバ  
 ーで開催されるが、参加旅行の  
 案内を前回どおり、日本交通公  
 社と阪急交通社代理店トラベル  
 プロモードへ願う。

(2)国際女医会第18回国際会議(マ  
 ニラ開催)の議事録本が発行さ  
 れた。

(3)国際女医会第20回国際会議開催

国は、郵便による投票の結果イ  
 タリアと決定した。  
 二、日本女医会費請求について  
 会費の滞納が3カ年となった場合  
 は、除名するとなっているが、昭  
 和55年度未納者が、いまだ会員に  
 なっていることはどうしてかの質  
 問に対し、従来どおり請求をして  
 いく、そして今後滞納期間の検討  
 をする。

三、定款及び定款施行規則について  
 (1)定款施行規則に関して  
 イ、第2条会費の滞納が長期と  
 は、3カ年とするとなつてい  
 るが5カ年に変更してはどうか。  
 ロ、理事と評議員の兼任につ  
 いては、細則で兼任できないと  
 明文化すべきではないか。  
 ハ、申し合せ事項として副会長  
 の役割分担を決め次回までに  
 相談願う。

(2)定款について  
 イ、常任理事職制を廃止しては  
 どうか。  
 ロ、理事職数を減してはどうか。  
 ハ、役員任期は、連続2期ま  
 でに制限してはどうか。  
 以上の件についての議題をふま  
 え定款改正を検討する。

四、その他  
 (1)世界身体障害者芸術家協会より絵  
 はがき、ハンカチ購入の協力依  
 頼について  
 二千円送金と決定

(2)全国女子医学生会の会より賛助会

員依頼について  
日本女医学会団体として五万円  
送金と決定。

(3) テスコ教育システム株式会社より  
当会会員名簿購入依頼につい  
て  
五千円にて販売をする。

(4) 講演研修会について  
講演テーマ、日時、場所等に  
ついて学術部で検討する。

(5) 職員賞与について  
二・三カ月と決定

(6) 日本家族計画連盟より「悲し  
みを裁けますか」の寄贈本につ  
いて紹介あり。  
以上 久保田くら  
野沢 良美

常任理事会議事録

日時 昭和58年7月23日  
場所 日本女医学会 会議室

出席(敬称略)

三神、小俣、福永、山崎、久保田、  
佐野、白橋、野沢、橋本、平瀬、  
丸山、森川、柳瀬

欠席(敬称略)

稲葉、佐藤、八木

庶務報告 久保田常任理事

6月24日 国際婦人年連絡会へ柳  
瀬常任理事出席。

・広報部会を行なう。  
6月25日 常任理事会、理事会を  
行なう。

7月7日 厚生省へ昭和57年度事  
業報告及び昭和58年度事業計画  
案提出。

・事業部会を行なう。  
7月8日 国際婦人年連絡会NG  
O総会準備会に山崎副会長、柳  
瀬常任理事出席。

7月12日 広報部会を行なう。  
その他

(1) 米 一億(イル・オク・チョン)  
国際女医学会西太平洋地域副会長  
宛に国際女医学会役員会出席の途  
次日本へ立ち寄る招請状発送

(2) 安田信託銀行新宿西口支店より  
斉藤悠新支店長就任の挨拶状あ  
り。

(3) 世界身体障害芸術家協会より支  
援の礼状あり。

(4) 故岩崎ヨシ先生ご遺族より香典

の礼状あり。  
(5) 故宮崎ミヤ先生ご遺族より供養  
の品あり。  
(6) 中条みよ先生(昭和56年退会)  
ご逝去に際し弔電を供す。  
(7) 全国女子医学生会の会より賛助会  
費受領の礼と「ほろほろ鳥通信」  
寄贈あり。

連絡事項  
(1) 昭和58年度「婦人教育研究集会」  
の開催について  
(2) 「婦人問題解決のための新東京  
都行動計画」男女の平等と共  
同参加への東京プラン——昭和  
58年度実施細目」の説明会の開  
催について  
丸山常任理事  
承認

6月分別紙どおり  
以上 久保田くら  
野沢 良美

会員動静

新評議員(敬称略)

岡山支部 杉 久子  
新予備評議員(敬称略)

中野支部 中山年子  
入会会員(敬称略)

渋谷支部 木村敬子(高橋)  
福島医 昭55年卒  
中野支部 西山愛子(三木)

京都大 昭46年卒  
目黒支部 齊藤裕子  
慈恵医 昭40年卒

神奈川支部 中谷かつら  
東女医 昭16年卒

神奈川支部 平柳富美子  
東女医 昭23年卒  
神奈川支部 本田美代子(竹口)

東邦医 昭45年卒  
愛知支部 服部君江(林)  
名古屋支部 昭26年卒

兵庫支部 里見千賀子(北島)  
弘前大 昭42年卒  
新卒入会会員(敬称略)

新宿支部 糸田川久美 東女医

集記

このの外きびしかった夏も過ぎ、  
灯火親しむ秋到来！ 意欲満々の先  
生方にはこの秋をいかがお過ごしで  
ございますか。復刊第九十六号もお  
陰様で多彩なご投稿を頂き、お手許  
にお届けすることができましたこと  
を厚くお礼申し上げます。

巻頭には国際人として活躍の山  
崎副会長から世界の女医の現況をご  
紹介頂き、医師過剰、高齢化を迎え  
る今日、われわれ日本女医はますま  
す団結の必要性を痛感致します。  
また大先輩柴田洋子先生の寸暇を  
惜しんでのご活躍、中川先生の健康  
法、若い研究助成者の研究報告、そ  
して支部運営のご苦労や楽しい旅の  
話し等、秋の夜長にごゆっくりとご  
覧頂けたことと存じます。

広報部では常に部会を開き、皆様  
方より待たれる会誌になるよう努力  
検討を重ねておりますが、何卒ご指

大分支部 安武千恵 東女医  
物故者会員(敬称略)  
埼玉支部 岩崎ヨシ  
茨城支部 武藤京子 宮崎ミヤ  
葛飾支部 鷹野春江  
都下支部 林 千鶴  
長野支部 早川セツコ  
富山支部 鳴河君代  
山口支部 大野貞子  
大分支部 山田都美子

導ご協力を賜わりますようお願い致し  
ます。支部近況や会員消息欄へのニ  
ユース等、お気軽にお便りまたはお  
電話下さいませようお待ちしております  
ます。

来年五月には神奈川支部のご協力  
により横浜において総会が開かれま  
す。詳しくは次号(一月末発行)に  
も掲載されますので万障お繰り合  
わせの上、多数のご来場をお待ちし  
ております。

最後にご多忙中玉稿を賜わりました  
諸先生方に厚くお礼申し上げます。  
(八木)

昭和58年10月20日 印刷  
昭和58年10月25日 発行  
編集人 八 木 貞 子  
発行人 日 本 女 医 会  
発行所 東京都渋谷区渋谷2-1  
8-17 青山宮野ビル  
社団法人 日本女医学会  
TEL (498) 〇五七  
制作 東京都文京区水道1-  
5-16  
株式会社 金剛出版

会員の消息



\*細川茂里為(石川支部)  
東女医・昭和2年卒

昭和57年4月29日、勲五  
等瑞宝章の榮譽を受けられま  
した。

辺地の農村地帯で学校医療に  
たずさわり児童、生徒の健康  
管理と学校保健の向上に貢献  
されました。